

**「映像エッジ AI」を現場実装する EDGEMATRIX が、
NTT ドコモ、清水建設、SONY INNOVATION FUND、DG ベンチャーズから
シリーズ B で約 10 億円を調達**

～ 累計調達額 19 億円、新機種・機能開発と
スマートシティ/ビルディング、社会インフラ、海外市場に向け展開加速 ～

高精細映像などを現場（エッジ）でリアルタイムに AI 処理するデバイス「Edge AI Box」、 「映像エッジ AI」統合管理・収益化プラットフォーム「EDGEMATRIX サービス」、ワンストップでの現場実装と課題解決「映像エッジ AI ソリューション」を提供する EDGEMATRIX（エッジマトリクス）株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 太田洋、以降 EDGEMATRIX）は、株式会社 NTT ドコモ（東京都千代田区、代表取締役社長 井伊 基之）、清水建設株式会社（東京都中央区、取締役社長 井上 和幸）、SONY INNOVATION FUND（ソニー株式会社：東京都千代田区、代表執行役会長兼社長 CEO 吉田 憲一郎が設立したコーポレートベンチャーキャピタル）、株式会社 DG ベンチャーズ（東京都渋谷区、代表取締役会長 兼 社長 林 郁）の 4 社から、3月18日(木)付の第三者割当増資により約 10 億円を資金調達しました。

EDGEMATRIX は、2019 年 8 月のシリーズ A における約 9 億円を加えた累計 19 億円の調達資金により、「Edge AI Box」新機種追加、「EDGEMATRIX サービス」新機能開発を行い製品サービスをさらに強化します。また、清水建設が開発した建物 OS との連携も視野に入れたスマートシティやスマートビルディングにおける各種センサーとの連携開発を行うとともに、道路・鉄道等の公共施設や医療・福祉施設等を含む社会インフラへのソリューション提供拡大、製品引き合いが増えているアジア市場から海外展開を加速してゆきます。

「映像エッジ AI」とは、データが生成される現場(エッジ)又は近傍で AI の処理を実行し活用することです。通信回線の遅延や同時処理量に制限のある環境では難しい膨大な数のカメラ映像が生み出す大量データをリアルタイムに AI 処理できます。クラウドとの連動により広い範囲の状況把握や対象追跡にも威力を発揮します。これにより、カメラ映像に映る数百人規模の行動分析、高速の工場生産ラインの自動制御、不審物・不審者、危険環境を瞬時に警告、通知するなど、従来では難しかった規模とスピード感ある AI ソリューションの導入が可能になります。

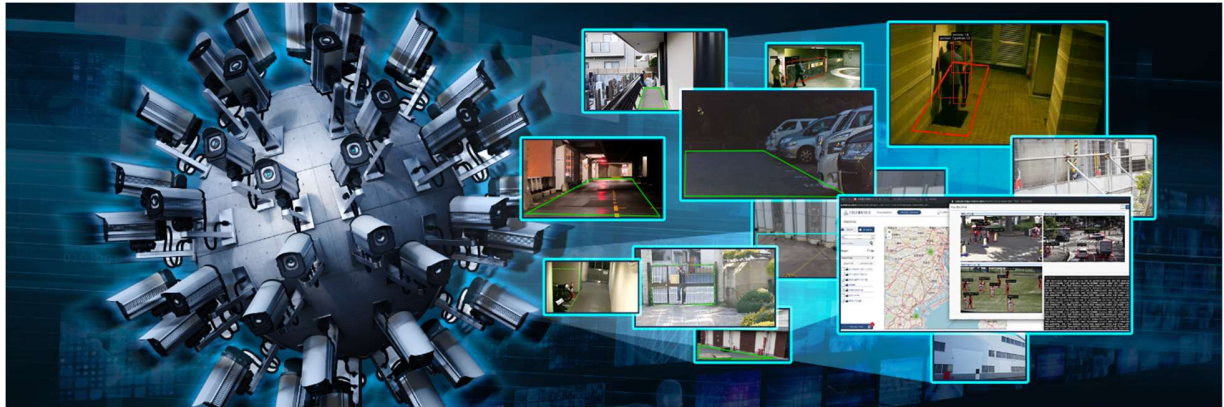


図 1:映像エッジ AI のイメージ

EDGEMATRIX は次の 3 事業により、「映像エッジ AI」の開発からソリューションまでを提供しています。

1. 「Edge AI Box」

「Edge AI Box」は、街やビルを見守る IP カメラ映像などを現場で AI 処理し伝送できる屋内と屋外用小型デバイスです。深層学習ベースの AI などの高速計算処理をする GPU と WiFi/LTE/5G 通信モジュールを搭載し、カメラ接続等の豊富なインターフェースを備えています。



図 2:Edge AI Box

2. 「EDGEMATRIX サービス」

「EDGEMATRIX サービス」は、現場設置の「Edge AI Box」からエンド・エンドで映像エッジ AI を統合管理するプラットフォームです。デバイスの遠隔管理、設置場所を地図表示（マップビュー）する状態管理、現場からの AI 処理済映像をブラウザに多数同時表示する「エッジビュー」などのサービス管理、AI アプリケーションの配信・管理、パートナーが開発した汎用 AI アプリケーションを選択購入できる「EDGEMATRIX ストア」を提供しています。

お客様はストアアプリから月額課金の AI アプリを選択するだけで「映像エッジ AI」を開始できます。また、自社で AI アプリを開発するお客様には、「EDGEMATRIX Platform サービス」によりプラットフォーム機能だけを利用いた

だけです。短時間で効率的な開発を行うための技術文書や画像処理用のソフトウェア開発キット「EDGEMATRIX Stream Toolkit」を提供しています。



図 3: EDGEMATRIX サービス概念図

EDGEMATRIX Platform 機能

ソフトウェア更新	AI アプリの配信・変更およびファームウェアアップデート
マップビュー	地図表示による Edge AI Box およびカメラの遠隔管理と状態監視
エッジビュー	現場に設置されたカメラのリアルタイム映像および録画映像のモニタリング (複数選択可能)
PTZ 制御	PTZ カメラの Pan / Tilt / Zoom を遠隔制御
NAT 越え	プライベートネットワーク内に設置される Edge AI Box や PC へのリモートアクセス機能 (Peer to Peer 接続)
アクションルール設定	AI アプリによる異常などイベント検出時の動作設定 (メール送信・Line 通知・録画・ディスプレイ表示・パトライト点灯)
セキュリティ機能	Edge AI Box 認証・データ暗号化・モデル保護など強固なセキュリティをサポート

図 4 : EDGEMATRIX Platform の機能

【YouTube】EDGEMATRIX ストア専用 AI アプリ例 : <https://youtu.be/qStp1EZRExE>

3. 「映像エッジ AI ソリューション」

「映像エッジ AI ソリューション」では、現地調査に始まり、お客様からの要望に応えるカメラ、周辺機器、AI アプリケーション調達や開発、設置工事、設定調整に至る「映像エッジ AI」の現場実装と課題解決をワンストップで提供します。

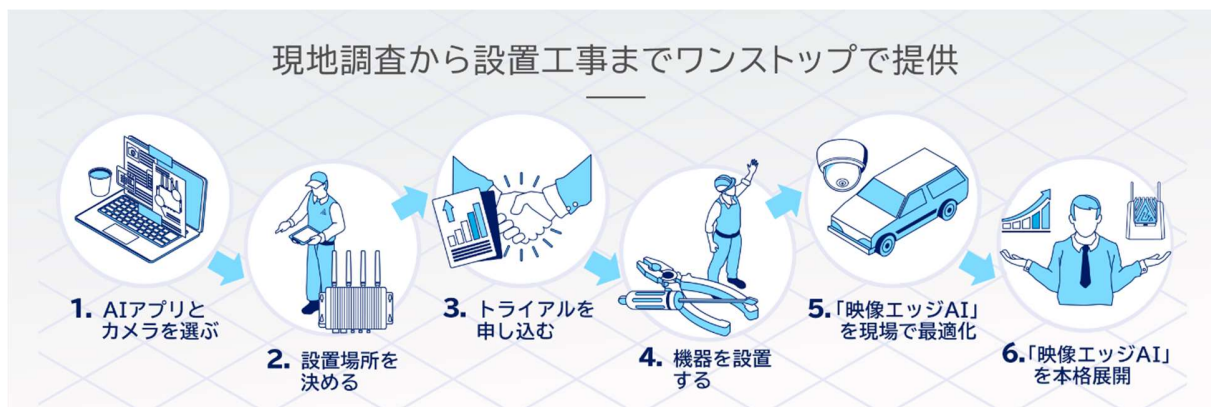


図 5：映像エッジ AI ソリューションの概念図

EDGEMATRIX について

「映像エッジ AI」のインフラ製品からプラットフォームサービスをエンドエンドに提供し、現場実装までをワンストップで提供できる体制を整えたスタートアップです。2019年に米国 Clouidian からスピノフし、N T T ドコモ、清水建設、日本郵政キャピタル、SONY INNOVATION FUND、D Gベンチャーズ等から累計 19 億円の出資を得ています。

ホームページ：<https://www.edgematrix.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/EDGEMATRIX.INC>

EDGEMATRIX	
会社名	EDGEMATRIX 株式会社
代表者	代表取締役社長 太田 洋
所在地	東京都渋谷区代官山町 8 - 7 Daiwa 代官山ビル
営業開始日	2019 年 7 月 1 日
従業員数	30 名
主な事業内容	「映像エッジ AI」の現場実装事業